15]	2025 年度 大学院シラ	ラバス
卓	厚攻分野/コース	腎臟•高血圧內科学
	(英文名)	(Nephrology and Hypertension)
	研究指導教員	柴垣 有吾
	多くの腎臓病の成因はア	下明である。その一部は既知および未知の機序により腎機能障害が進行し、腎代
		腎不全に進行する。近年、このような過程をすべて含む病態として慢性腎臓病
	(CKD)という疾患概念が携	唱されている。この CKD は単に末期腎不全への進行ばかりでなく、心血管系疾
	患の合併が非常に多く、そ	のための死亡の多いことが明らかとなってきている。一方、腎臓は全身血圧調節
		圧は腎機能障害進行や CKD に伴う合併症と密接な関連がある。また、高血圧は
		もある。したがって、腎臓病を診療するためには、初期からの腎臓病の適切な診
研		印の危険因子の管理、さらに末期腎不全に至った場合には代替療法である体外
究		膜透析、または腎移植の適切な選択、施行そして管理、という幅広い知識と技術
•	が必要となる。	
教		※療のエキスパートとしての十分な基礎を得るために、単に診療ができるということ
育		会行うために必要な背景の知識の習得方法を学び、さらに診療上の疑問点、未解
の		て、腎臓学に精通することを目的としている。
概		について習得すべき必要な背景の知識は次のものである。
略	1. 腎疾患発症の基本的	
	2. 腎疾患の組織変化と機	
	3. 慢性腎臓病の進行機	
	4. 体液、酸塩基平衡の恒 5. 現状の体外循環式血液	国帝性と異常の機序 夜浄化療法ならびに腹膜透析法の問題点
	6. 腎移植後のドナーおよ	
	3. 骨砂値後のドケーおよ7. 現状の急性血液浄化液	
	8. 慢性腎臓病の管理	ムツ川の名が
	1. 腎臓病の成因ならびに	
	2. 腎臓病の診断、経過額	現察、治療効果判定方法の開発
研	3. 腎の組織学的変化と腎	脊疾患の成因や予後との関連の検討
究	4. 慢性腎臓病における腎	腎機能障害および合併症の進行抑制方法の検討
項	5. 腎移植レシピエントお。	よびドナーの腎機能維持に関する検討
目	6. 浄化療法改良による慢	性腎不全合併症の軽減
	7. 急性血液浄化法の基础	遊的検討
準備学習(予習·復習)	事前に参考資料をよく読ん	でおくこと。

講義コー	k	*	専攻分野	腎臓• 髙	i血圧内 ⁵	科学				
講義題目		腎臓病態学	I			必修/選択	必修			
担当教員		柴垣 有吾		担当教員連絡	先	PHS 80047				
単位数		1単位(前期 1)		履修年次 1年(2年でも可)						
テーマと目的	勺	症例に基づいて	基本的な腎疾	患の病態を理解	解する					
講義計画		種々の基本的な	腎疾患症例を	通して病態を理	理解し、管理	!方法を検討する				
達成目標				病態を論理的に 基づいた管理を						
教科書·参表	等書	別途指示								
準備学習(予習・	復習•時間)	事前に参考資料	をよく読んでま	さくこと。 1 時間	1					
成績評価法		出席と講義内での	の発表および	受講態度による	総合評価					
卒業認定・等		腎臓病態学の知	識に基づいて	、自立して研究	どを遂行し論	述する能力を習	得する			
			講	& 内 容						
前期(回)		内容	(出席卿)	後期(回)		内容	(出席卿)			
1	症例を通	通じて腎疾患の病態	態を学ぶ(1)	1						
2	完例を通	ないて取ば申の庁台								
_	게드	世して背疾思の病児	態を学ぶ (2)	2						
3		型して骨疾患の病態 一性で腎疾患の病態		3						
	症例を通		集を学ぶ (3)							
3	症例を通症例を通	通じて腎疾患の病態	集を学ぶ (3) 集を学ぶ (4)	3 4						
3 4	症例を通症例を通症例を通症例を通	通じて腎疾患の病態 通じて腎疾患の病態	患を学ぶ (3) 患を学ぶ (4) 患を学ぶ (5)	3 4						
3 4 5	症例を追症例を追症例を追症例を追	値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態	息を学ぶ (3) 息を学ぶ (4) 息を学ぶ (5) 息を学ぶ (6)	3 4 5						
3 4 5 6	症例を通症例を通症例を通症例を通症例を通症例を通症の	通じて腎疾患の病態 通じて腎疾患の病態 通じて腎疾患の病態	点を学ぶ (3) 点を学ぶ (4) 点を学ぶ (5) 点を学ぶ (6) 点を学ぶ (7)	3 4 5 6						
3 4 5 6 7	症例を通症例を通症例を通症例を通症例を通症例を通症例を通症例を通症の	値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態	患を学ぶ (3) 患を学ぶ (4) 患を学ぶ (5) 患を学ぶ (6) 患を学ぶ (7) 患を学ぶ (8)	3 4 5 6 7						
3 4 5 6 7 8	症例を通症例を通症例を通症例を通症例を通症例を通症例を通症例を通症のを通症のを通症のを通症のを通症のを通症のを通	値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態	点を学ぶ (3) 点を学ぶ (4) 点を学ぶ (5) 点を学ぶ (6) 点を学ぶ (7) 点を学ぶ (8)	3 4 5 6 7 8						
3 4 5 6 7 8 9	症例を通症例を通症例を通症の例を通症の例をををををををををををををををををしている。	値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態	点を学ぶ (3) 点を学ぶ (4) 点を学ぶ (5) 点を学ぶ (6) 点を学ぶ (7) 点を学ぶ (8) 点を学ぶ (9)	3 4 5 6 7 8 9						
3 4 5 6 7 8 9	症例を通症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症	値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態	点を学ぶ (3) 点を学ぶ (4) 点を学ぶ (5) 点を学ぶ (6) 点を学ぶ (7) 点を学ぶ (8) 点を学ぶ (9) を学ぶ (10) を学ぶ (11)	3 4 5 6 7 8 9						
3 4 5 6 7 8 9 10 11	症がをををををををををををををををををををををををををををををををををををを	値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態	点を学ぶ (3) 点を学ぶ (4) 点を学ぶ (5) 点を学ぶ (6) 点を学ぶ (7) 点を学ぶ (8) 点を学ぶ (9) を学ぶ (10) を学ぶ (11) を学ぶ (12)	3 4 5 6 7 8 9 10 11						
3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	症がをををををををををををををををををををををををををををををををををををを	値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態 値じて腎疾患の病態	点を学ぶ (3) 点を学ぶ (4) 点を学ぶ (5) 点を学ぶ (6) 点を学ぶ (7) 点を学ぶ (8) 点を学ぶ (9) を学ぶ (10) を学ぶ (11) を学ぶ (12)	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12						

講義コー	ド	*	専攻分野	F	腎臓•髙	血圧内症	科学			
講義題目	l	腎移植学特	論				必修/選択	必修		
担当教員		柴垣 有吾		担	当教員連絡	先	PHS 80047			
単位数		1単位(前期 1)		履	履修年次 1年(2年でも可)					
テーマと目的	内	腎移植に関連す	る基礎的事項	と問	問題点を理解	解する				
講義計画		腎移植症例を通	して、移植前行	後の	基本的事項	で問題点を	≥検討する			
達成目標		 移植時の免疫 野移植に関連 				゛ンスに基っ	がた対応方法を	説明できる		
教科書•参表	教科書•参考書 別途指示									
準備学習(予習・	準備学習(予習・復習・時間) 事前に参考資料をよく読ん					il in the second				
成績評価法 出席と講義内での発表およ					非態度による	総合評価				
卒業認定・学位授与 の方針との関連性 腎移植学の知識に基づいて					Zして研究を	遂行し論述	ヹする能力を習得 [、]	する		
			講	姜 [7	内 容					
前期(回)		内容	(出席卿))	後期(回)		内 容	(出席卿)		
1	組織適合	}性(1)			1					
2	組織適合	}性(2)			2					
3	ABO 不	適合移植			3					
4	レシピエ	ントの選択と対応			4					
5	術前ドナ	一管理			5					
6	術後管理	4			6					
7	周術期⊄	 D問題 			7					
8	超急性排	E絶反応			8					
9	急性拒絕	—————————————————————————————————————			9					
10	慢性拒絕	—————————————————————————————————————			10					
11	その他の)拒絶反応			11					
12	ポリオー	マウイルス感染症			12					
13	レシピエ	ントの長期的管理			13					
14	ドナーの	長期的管理(1)			14					
15	ドナーの	長期的管理(2)			15					

講義コー	ド	*	専攻分野	腎臓•高	血圧内科	·学	
講義題目		腎臓症候学	I		٤	必修/選択	必修
担当教員		今井 直彦		担当教員連絡	·先 · ·	PHS 718136	
単位数		1単位(前期1)		履修年次	1	年(2年でも可)
テーマと目的	勺	症例に基づいて	基本的な腎疾	患の症候を理解	解する		
講義計画		種々の基本的な	腎疾患症例を	通して症候の意	意義と管理方	法を検討する	
達成目標		1. 基本的な腎疾 2. 症候の背景に	. —				
教科書•参為	考書	別途指示					
準備学習(予習・	復習•時間)	事前に参考資料	をよく読んでお	さくこと。 1 時間	ı		
成績評価法		出席と講義内での	の発表および	受講態度による	総合評価		
卒業認定・質の方針との		腎臓症候学の知	識に基づいて	、自立して研究	どを遂行し論う	比する能力を習行	得する
			講	& 内容			
前期(回)		内 容	(出席卿)	後期(回)	内	容	(出席卿)
1	症例を追	通じて症候の意義を	・学で (1)	-1			
			7十分 (1)	1			
2		近て症候の意義を		2			
	症例を追		≥学ぶ (2)				
2	症例を追症例を追	通じて症候の意義を	☆学ぶ (2) ☆学ぶ (3)	2			
2 3	症例を追症例を追症例を追	値じて症候の意義を 値じて症候の意義を	☆学ぶ (2) ☆学ぶ (3) ☆学ぶ (4)	2 3			
2 3 4	症例を追症例を追症例を追症例を追症例を追	値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を	☆学ぶ (2) ☆学ぶ (3) ☆学ぶ (4) ☆学ぶ (5)	2 3 4			
2 3 4 5	症例を追症例を追症例を追症例を追症例を追症例を追	通じて症候の意義を 通じて症候の意義を 通じて症候の意義を 通じて症候の意義を	☆学ぶ (2) ☆学ぶ (3) ☆学ぶ (4) ☆学ぶ (5) ☆学ぶ (6)	2 3 4 5			
2 3 4 5 6	症例を追症例を追症例を追症例を追症例を追症例を追症例を追症例を追	値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を	☆学ぶ (2) ☆学ぶ (3) ☆学ぶ (4) ☆学ぶ (5) ☆学ぶ (6)	2 3 4 5 6			
2 3 4 5 6 7	症例を追避症例を追避症例を追避症例を追避症例をを追避症例をを追避症例を必ずを必ずる。	値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を	☆学ぶ (2) ☆学ぶ (3) ☆学ぶ (4) ☆学ぶ (5) ☆学ぶ (6) ☆学ぶ (7)	2 3 4 5 6 7			
2 3 4 5 6 7 8	症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症	値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を	学ぶ (2) 学ぶ (3) 学ぶ (4) 学ぶ (5) 学ぶ (6) 学ぶ (7) 学ぶ (8)	2 3 4 5 6 7 8			
2 3 4 5 6 7 8 9	症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症	値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を	学ぶ (2) 学ぶ (3) 学ぶ (4) 学ぶ (5) 学ぶ (6) 学ぶ (7) 学ぶ (8) 学ぶ (9)	2 3 4 5 6 7 8 9			
2 3 4 5 6 7 8 9	症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症	がで症候の意義を がで症候の意義を がで症候の意義を がで症候の意義を がで症候の意義を がで症候の意義を がで症候の意義を がで症候の意義を がで症候の意義を がで症候の意義を がで症候の意義を がで症候の意義を がで症候の意義を がで症候の意義を がで症候の意義を がで症候の意義を がで症候の意義を がで症候の意義を がで症候の意義を	学ぶ (2) 学ぶ (3) 学ぶ (4) 学ぶ (5) 学ぶ (6) 学ぶ (7) 学ぶ (8) 学ぶ (9) 学ぶ (10)	2 3 4 5 6 7 8 9			
2 3 4 5 6 7 8 9 10	症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症	値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を	学ぶ (2) 学ぶ (3) 学ぶ (4) 学ぶ (5) 学ぶ (6) 学ぶ (7) 学ぶ (8) 学ぶ (9) 学ぶ (10) 学ぶ (11) 学ぶ (12)	2 3 4 5 6 7 8 9 10			
2 3 4 5 6 7 8 9 10 11	症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症症	値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を 値じて症候の意義を	学ぶ (2) 学ぶ (3) 学ぶ (4) 学ぶ (5) 学ぶ (6) 学ぶ (7) 学ぶ (8) 学ぶ (9) 学ぶ (10) 学ぶ (11) 学ぶ (12)	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11			

講義コー	・ド	*	専攻分野	•	腎臓•高血	L圧内:	科学			
講義題目	l	腎臟画像診	新学 I				必修/選択	必修		
担当教員		白井 小百合		担	当教員連絡先		PHS 718159			
単位数		1単位(前期1)		履何	1年(2年でも可)					
テーマと目的	的	症例に基づいて	腎疾患の基本	的な	は画像検査法を	と理解し	、読影できる			
講義計画		種々の腎疾患症	例を通して基準	本的	」な画像検査法	の意義	を検討する			
達成目標		1. 腎疾患につい 2. 腎疾患の基本				できる				
教科書•参	教科書・参考書 別途指示									
準備学習(予習・	準備学習(予習・復習・時間) 事前に参考資料をよく読んでお									
成績評価法		出席と講義内での	の発表および	受講	態度による総	合評価				
卒業認定・学		腎臟画像診断学	の知識に基づ	ぎレソコ	て、自立して研	究を遂行	テレ論述する能力	を習得する		
			講義	ŧ Þ	内 容					
前期(回)		内容	(出席卿)		後期(回)	١	为 容	(出席卿)		
1	症例を通	通じて画像検査の意	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	1)	1					
2	症例を通	通じて画像検査の意	意義を学ぶ(2	2)	2					
3	症例を追	通じて画像検査の意	意義を学ぶ(3	3)	3					
4	症例を追	通じて画像検査の意	意義を学ぶ(4	4)	4					
5	症例を追	通じて画像検査の意	意義を学ぶ(5	5)	5					
6	症例を追	通じて画像検査の意	意義を学ぶ(6	3)	6					
7	症例を追	通じて画像検査の意	意義を学ぶ(7	7)	7					
8	症例を追	通じて画像検査の意	意義を学ぶ(8	3)	8					
9	症例を追	通じて画像検査の意	意義を学ぶ(9	9)	9					
10	症例を通	近て画像検査の意	義を学ぶ(10))	10					
11	症例を通	値で画像検査の意	義を学ぶ(11	.)	11					
11 12		記て画像検査の意 記て画像検査の意			11					
	症例を通		義を学ぶ(12	2)						
12	症例を通症例を通	近て画像検査の意	義を学ぶ(12 義を学ぶ(13	;)	12					

講義コー	ド	*	専攻分野	₹ 腎臓•	高血圧内	科学				
講義題目		血圧•体液異	k常特論 I			必修/選択	必修			
担当教員		今井 直彦		担当教員連	絡先	PHS 718136	IS 718136			
単位数		1単位(前期 1)		履修年次	F次 1年(2年でも可)					
テーマと目的	勺	症例に基づいて基本的な血圧異常および体液異常の病態を理解する								
講義計画		種々の血圧、体液	種々の血圧、体液異常症例を通して病態を理解し、管理方法を検討する							
達成目標		1. 血圧異常時の 2. 体液の制御と								
教科書·参表	 善	別途指示								
準備学習(予習・	復習•時間)	宇間								
成績評価法		出席と講義内での	る総合評価							
卒業認定・等		血圧•体液異常の	て研究を遂行	し論述する能力を	習得する					
			講	隻 内 容						
前期(回)		内容	(出席卿)		後期(回)	内 容	(出席卿)			
1	血圧、体	液異常症例を通じ	て異常の意義	を学ぶ (1)	1					
2	血圧、体	液異常症例を通じ	て異常の意義	を学ぶ (2)	2					
3	血圧、体	液異常症例を通じ	て異常の意義	を学ぶ (3)	3					
4	血圧、体	液異常症例を通じ	て異常の意義	を学ぶ (4)	4					
5	血圧、体	液異常症例を通じ	て異常の意義	を学ぶ (5)	5					
6	血圧、体	液異常症例を通じ	て異常の意義	を学ぶ (6)	6					
7	血圧、体	液異常症例を通じ	て異常の意義	を学ぶ (7)	7					
8	血圧、体	液異常症例を通じ	て異常の意義		8					
9	血圧、体	液異常症例を通じ	て異常の意義	を 学ぶ (9)	9					
10	血圧、体	液異常症例を通じて	異常の意義を		10					
11	血圧、体	液異常症例を通じて	異常の意義を		11					
12	血圧、体	液異常症例を通じて	異常の意義を		12					
13	血圧、体	液異常症例を通じて	異常の意義を	学ぶ (13)	13					
14	血圧、体	液異常症例を通じて	異常の意義を	デジ (14)	14					
15	血圧、体	液異常症例を通じて	異常の意義を	デジ (15)	15					

講義コー	ド	*	専攻分野	F	腎臓•高血	王内	科学			
講義題目		腎疾患特論	I				必修/	/選択	必修	
担当教員		柴垣 有吾		担当	当教員連絡先PH			PHS 80047		
単位数		1 単位 (前期 1)		履修	修年次 1年(2年でも可)					
テーマと目的	ij	腎疾患症例の医	学的、社会的	八倫:	理的、精神的な	問題~	への適切	な対応を	学ぶ	
講義計画		種々の基本的腎療	実患症例への ?	対応る	を種々な医療スク	タッフと	検討し、	適切な対応	芯を討議する	
達成目標		, , , , _ , , , ,	1. 腎疾患症例の医学的、社会的、倫理的、精神的な問題を説明できる 2. リーダーシップをとって、種々の職種とこの問題を話し合い、まとめることができる							
教科書•参考書 別途指示										
準備学習(予習・復習・時間) 事前に参考資料をよく読んでおくこと。 1 時間										
成績評価法 出席と講義内での発表および受講態度による総合										
	卒業認定・学位授与 の方針との関連性 腎疾患の知識に基づいて、自立して研究を遂行し諸							を習得する	5	
			講	& 内	下容					
前期(回)		内 容	(出席卿))	後期(回)		内	容	(出席卿)	
1	症例の多	る面的な問題解決	を検討する((1)	1					
2	症例の多	る面的な問題解決	を検討する((2)	2					
3	症例の多	る面的な問題解決	を検討する((3)	3					
4	症例の多	る面的な問題解決	を検討する((4)	4					
5	症例の多	る面的な問題解決	を検討する((5)	5					
6	症例の多	る面的な問題解決	を検討する((6)	6					
7	症例の多	る面的な問題解決	を検討する((7)	7					
8	症例の多	多面的な問題解決	 を検討する ((8)	8					
9	症例の多	多面的な問題解決	を検討する ((9)	9					
10	症例の多	が面的な問題解決を	検討する (10	0)	10					
11	症例の多	が面的な問題解決を	検討する (1:	1)	11					
12	症例の多	が面的な問題解決を	検討する (1:	2)	12					
13	症例の多	が面的な問題解決を	検討する (1:	3)	13					
14	症例の多	が面的な問題解決を	·検討する (1 ₄	4)	14					
15	症例の多	が面的な問題解決を		5)	15					

講義コー	ķ	*	専攻分野	腎	臓•高血圧	内科学			
講義題目		腎病理と臨床	F各論 I			必何	修/選択	必修	
担当教員		市川 大介		担当教	員連絡先	PHS	81479		
単位数		1 単位 (前期 1)		履修年	三次 1年(2年でも可)				
テーマと目的	J	腎生検組織と臨り	末情報とを組み	み合わせ	大病態、診断	、管理、そ	して治療力	法を学ぶ	
講義計画		腎生検組織の評	価を基盤に、	症例の症	涛態、診断、管	理、そして	治療方法	を学ぶ	
達成目標		1. 腎生検標本の 2. 腎生検組織的	の基本的な評 象から臨床情						
教科書·参考	別途指示								
準備学習(予習・後	事前に参考資料	1 時間							
成績評価法		出席と講義内での		価					
	卒業認定・学位授与 の方針との関連性 腎病理の臨床的知識に基づいて、自立して研究を							習得する	
			講	島 内 名	<u></u>				
前期(回)		内 容	(出席卿)		後期(回)		内 容	(出席卿)	
1	腎生検症	定例を通じて基本的	り病変像を学	ぶ (1)	1				
2	腎生検症	定例を通じて基本的	ク病変像を学	ぶ (2)	2				
3	腎生検症	臣例を通じて基本的	り病変像を学	ぶ (3)	3				
4	腎生検症	臣例を通じて基本的	り病変像を学	ぶ (4)	4				
5	腎生検症	臣例を通じて基本的	り病変像を学	ぶ (5)	5				
6	腎生検症	臣例を通じて症候を	∵学ぶ(1)		6				
7	腎生検症	臣例を通じて症候を	≥学ぶ(2)		7				
8	腎生検症	臣例を通じて症候を	≥学ぶ(3)		8				
9	腎生検症	臣例を通じて症候を	学ぶ (4)		9				
10	腎生検症	定例を通じて症候を	 ☆学ぶ(5)		10				
11	腎生検症	臣例を通じて検査所		る(1)	11				
12	腎生検症	臣例を通じて検査所		る (2)	12				
13	腎生検症	定例を通じて検査所	近見を解釈す	る (3)	13				
14	腎生検症	官例を通じて検査所	近見を解釈す	る (4)	14				
15	腎生検症	官例を通じて検査所	 折見を解釈す	る (5)	15				

講義コー	F	*	専攻分野	۶	腎臓•髙	血圧内	科学			
講義題目		血液浄化法	実習 I				必修/選択	必修		
担当教員		櫻田 勉		担	当教員連絡	先	PHS 80834			
単位数		2 単位 (前期 2)		履	履修年次 1年(2年でも可)					
テーマと目的	Ą	基本的な血液浄	化法の実践と	管理	!					
講義計画		種々な症例への	対応により基準	本的	な血液浄化	公法の実践	方法を習熟する			
達成目標		1. 基本的な血液 2. 基本的な血液					、症例へ適応でき て説明できる	る		
教科書·参表	教科書•参考書 別途指示									
準備学習(予習・	準備学習(予習・復習・時間) 事前に参考資料をよく読んで									
成績評価法	成績評価法実習態度と質疑応答による終									
	卒業認定・学位授与 の方針との関連性 血液浄化法の知識に基づい					記を遂行し諸	全部では 全部で 全部で はがまる。 はいる。 といる。 はい。 はいる。 もいる。 もいる。 もいる。 もいる。 もいる。 もいる。 もい。 もい。 もい。 も、 もい。 もい。 もい。 もい。 も、 もい。 もい。 もい。 も、 も、 も、 も、 も、 も、 も、 も、 も、 も、	导する		
			講	美 [7	勺 容					
前期(回)		内 容	(出席卿)		後期(回)		内 容	(出席卿)		
1	限外濾過	<u> </u>			1					
2	血液透析	斤(1)			2					
3	血液透析	斤(2)			3					
4	血液透析	斤(3)			4					
5	血液透析	斤(4)			5					
6	血液濾過	蜀(1)			6					
7	血液濾過	蜀(2)			7					
8	血液濾過	蜀 (3)			8					
9	血液濾過	過透析(1)			9					
10	血液濾過	過透析(2)			10					
11	腹膜透枕	斤(1)			11					
12	腹膜透椒	斤(2)			12					
13	腹膜透椒	斤法(3)			13					
14	ブラッドフ	アクセス(1)			14					
15	ブラッドフ	アクセス(2)			15					

講義コー	ド	*	専攻分野	5	腎臟•高血	L圧内 ⁵	科学			
講義題目		腎臓病診療の	の最新の流	進步	•		必修	多/選択	必修	
担当教員		市川 大介		担	当教員連絡先		PHS	81479		
単位数		1 単位 (前期 1)		履修	修年次 1年(2年でも可)					
テーマと目的	勺	腎臓病診療の最	診療の最新の進歩を知識として学ぶとともに、知識の得かたを習得する							
講義計画		主要関連英文誌に掲載された腎臓病に関する原著、総説、メタアナリシスなどのキーペーパーを輪読するとともに、問題を呈示して、関連文献を集め、内容を議論する								
達成目標		1. 腎臓病診療の最新の知識を習得する 2. 腎臓病診療の問題点に関する文献を集め、吟味できる								
教科書•参表	垮書									
準備学習(予習・	復習•時間)	おくこ	と。 1 時間							
成績評価法		出席と講義内での	り発表および	受講	態度による総	合評価				
卒業認定・		〔、自	立して研究を	遂行し諸	かける	る能力を習行	导する			
			講	& 内	7 容					
前期(回)		内 容	(出席卿)	ı	後期(回)	内	容		(出席卿)	
1	慢性腎脈	横病の最新のエビラ	デンス(1)		1					
2	慢性腎脈	横病の最新のエビラ	デンス(2)		2					
3	慢性腎脈	横病の最新のエビラ	デンス(3)		3					
4	慢性腎脈	横病の最新のエビラ	デンス(4)		4					
5	原発性糸	く球体疾患の最新の)エビデンス((1)	5					
6	原発性糸	く球体疾患の最新の	エビデンス((2)	6					
7	原発性糸	は球体疾患の最新の)エビデンス ((3)	7					
8	二次性系	は球体疾患の最新の	ンエビデンス((1)	8					
9	二次性系	は球体疾患の最新の)エビデンス ((2)	9					
10	尿細管•	間質疾患の最新の	エビデンス (1	.)	10					
11	尿細管•	間質疾患の最新の	エビデンス(2	2)	11					
12	尿細管•	間質疾患の最新の	エビデンス(3	3)	12					
13	腎血管系	系疾患の最新のエロ	ビデンス(1)		13					
14	腎血管系	系疾患の最新のエロ	 ビデンス(2)		14					
15	腎血管系	系疾患の最新のエロ	 ビデンス(3)		15					

講義コー	ド	*	専攻分野		腎臟•高血	王内	科学				
講義題目	l	体液•電解質	異常の最	新华	の進歩		必修/	/選択	必修		
担当教員		柴垣 有吾		担	当教員連絡先		PHS 8	0047			
単位数		1 単位 (前期 1)		履修	履修年次 1年(2年でも可)						
テーマと目的	内	体液•電解質異常	常の最新の進	歩を	を知識として学ぶとともに、知識の得かたを習得する						
講義計画		主要関連英文誌 一を輪読するとと			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •						
達成目標		1. 体液・電解質異常の最新の知識を習得する 2. 体液・電解質異常に関する文献を集め、吟味できる									
教科書•参表	考	別途指示									
準備学習(予習・	準備学習(予習・復習・時間) 事前に参考資料をよく読んでお										
成績評価法		出席と講義内での	受講	態度による総合	評価						
卒業認定・等		血圧•体液異常の	ハて	、自立して研究	を遂行	し論述す	る能力を	習得する			
			講義	· 内	了容						
前期(回)		内容	(出席卿)		後期(回)		内	容	(出席卿)		
1	Na 代謝	異常の最新のエビ	デンス(1)		1						
2	Na 代謝	異常の最新のエビ	デンス (2)		2						
3	水代謝	異常の最新のエビ	デンス(1)		3						
4	水代謝	異常の最新のエビ	デンス (2)		4						
5	K 代謝昇	異常の最新のエビラ	デンス(1)		5						
6	K 代謝昇	異常の最新のエビラ	デンス(2)		6						
7	Ca•P代	謝異常の最新のユ	ビデンス(1))	7						
8	Ca•P代	謝異常の最新のユ	ビデンス (2))	8						
9	Ca•P代	謝異常の最新のエ	ビデンス (3))	9						
10	Mg 代謝	異常の最新のエビ	デンス		10						
11	酸塩基豆	平衡異常の最新の	エビデンス(1	L)	11						
12	酸塩基፯	平衡異常の最新の	エビデンス(2	2)	12						
13	酸塩基፯	平衡異常の最新の	エビデンス(3	3)	13						
14	輸液療法	去の最新の進歩(1)		14						
15	輸液療法	去の最新の進歩(2)		15						

講義コー	ド	*		専攻分野	野 腎	臓•高血圧内	科学				
講義題目	l	腎臟症	対態学	П	·		必修/選択	必修			
担当教員		市川 ナ	介		担当教	 :員連絡先	PHS 81479				
単位数		1単位	後期 1)		履修年次 1年(2年でも可)						
テーマと目的	内	症例に	基づいて	特殊な腎疾	 腎疾患の病態を理解する						
講義計画		種々の	寺殊な腎	疾患症例をは	通して病態	態を理解し、管理力	方法を検討する				
達成目標						里的に説明できる 管理を計画できる					
教科書·参	教科書•参考書 別途指示										
準備学習(予習・	復習•時間)	事前に	参考資料	をよく読んで	おくこと。	1 時間					
成績評価法		出席と謂	講義内で の	の発表および	「受講態 」	度による総合評価					
卒業認定・学位授与 の方針との関連性 腎臓病態学の知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する											
			講義内容								
前期(回)	内	容	(出席)	1	期(回)	内;	客 (出	席卿)			
1					1	特異な症例を通じ	こて腎疾患の病態を	学ぶ(1)		
2					2	特異な症例を通じ	こて腎疾患の病態を	学ぶ(2)		
3					3	特異な症例を通じ	こて腎疾患の病態を	学ぶ(3)		
4					4	特異な症例を通じ	じて腎疾患の病態を	≥学ぶ(4)		
5					5	特異な症例を通じ	こて腎疾患の病態を	∵学ぶ(5)		
6					6	特異な症例を通じ	こて腎疾患の病態を	学ぶ(6)		
7					7	特異な症例を通じ	こて腎疾患の病態を	学ぶ(7)		
8					8	特異な症例を通じ	ごて腎疾患の病態を		8)		
9					9	特異な症例を通じ	ごて腎疾患の病態を	学ぶ(9)		
10					10	特異な症例を通じ	ごて腎疾患の病態を	学ぶ(10)		
11					11	特異な症例を通じ	ごて腎疾患の病態を	 :学ぶ(11)		
12					12	特異な症例を通じ	ごて腎疾患の病態を		12)		
13					13	特異な症例を通じ	ごて腎疾患の病態を	·学ぶ(13)		
14					14	特異な症例を通じ	ごて腎疾患の病態を	·学ぶ(14)		
15					15	特異な症例を通じ	こて腎疾患の病態を	 学ぶ(15)		

講義コー	ド	*		専攻分野	腎臓	高血圧内	科学			
講義題目	l	泌质	录器科関	連腎疾患	•		必修/選択	必修		
担当教員		白井	: 小百合		担当教員通	車絡先	PHS 718159			
単位数		1単位	位 (後期 1)		履修年次		1年(2年でも可)		
テーマと目的	的	泌尿	器科に関連	して発生する	内科的腎疾	患について理	解する			
講義計画		症例	 を通して、泌	· · · · · · · · · · · · · ·	患による腎疾	長患の問題点と	その対応を検討す	ける		
達成目標					, ,	「点を説明でき 方法を説明でき				
教科書•参	考書	別途	指示							
準備学習(予習・	復習•時間)	事前	iに参考資料	をよく読んでは	おくこと。 1 !	時間				
成績評価法		出席	と講義内で(の発表および	受講態度に	よる総合評価				
卒業認定・等	·	泌尿器関連疾患の知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する								
				講	隻 内 容					
前期(回)		内	容	(出席卿)	後期(回)	卢	容	(出席卿)		
1					1	尿路感染症	8感染症への対応(1)			
2					2	尿路感染症への対応 (2)				
3					3	尿路感染症	尿路感染症への対応 (3)			
4					4	尿路結石への対応 (1)				
5					5	尿路結石への対応 (2)				
6					6	尿路結石への対応 (3)				
7					7	逆流性腎症	[への対応(1)			
8					8	逆流性腎症	三への対応 (2)			
9					9	逆流性腎症	三への対応 (3)			
10					10	閉塞性尿路	8疾患への対応(1)		
11					11	閉塞性尿路	8疾患への対応(2)		
12					12	急性腎後性	性腎不全への対応	(1)		
13					13	急性腎後性腎不全への対応 (2)				
14					14	悪性腫瘍に	悪性腫瘍による高 Ca 血症への対応 (1)			
15					15	悪性腫瘍に	悪性腫瘍による高 Ca 血症への対応(2)			

講義コー	ド	*	専攻分野	曦· 高血圧内积	————— 科学					
講義題目		腎臓症候学	П			必修/選択	必修			
担当教員		櫻田 勉		担当教員	連絡先	PHS 80834				
単位数		1単位(後期1)		履修年次	ζ	1年(2年でも可)			
テーマと目的	ঠ	症例に基づいて	複雑な腎疾患	の症候を	理解する					
講義計画		複合する病態を	有する腎疾患	症例を通し		、管理方法を検討	けする			
達成目標			候論について の呈する症候		見を説明できる					
教科書·参考	書	別途指示								
準備学習(予習・行	復習•時間)	事前に参考資料	をよく読んでお	おくこと。	1 時間					
成績評価法		出席と講義内での	の発表および	受講態度は	こよる総合評価					
卒業認定・学位授与 の方針との関連性 腎臓症候学の知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する										
			講	奏 内 容						
前期(回)	内	容(出)	席卿) 後	類(回)	内	容()	出席卿)			
1				1	複雑な症例を通	じて症候の意義を	学ぶ (1)			
2				2	複雑な症例を通	じて症候の意義を	学ぶ (2)			
3				3	複雑な症例を通	じて症候の意義を	学ぶ (3)			
4				4	複雑な症例を通	じて症候の意義を	学ぶ (4)			
5				5	複雑な症例を通	じて症候の意義を	学ぶ (5)			
6				6	複雑な症例を通	追じて症候の意義を	学ぶ (6)			
7				7	複雑な症例を通	追じて症候の意義を	学ぶ (7)			
8				8	複雑な症例を通	じて症候の意義を	学ぶ (8)			
9				9	複雑な症例を通	じて症候の意義を	学ぶ (9)			
10				10	複雑な症例を通	じて症候の意義を	学ぶ(10)			
11				11	複雑な症例を通	じて症候の意義を	学ぶ (11)			
12				12	複雑な症例を通	近て症候の意義を	学ぶ(12)			
13				13	複雑な症例を通	近て症候の意義を	学ぶ (13)			
14				14	複雑な症例を通					
15				15	複雑な症例を通	じて症候の意義を	学ぶ(15)			

講義コー	۲	*	厚 攻分野	腎臟•高血圧內	内科学 					
講義題目		腎臟画像診断學	学Ⅱ		必修/選択	必修				
担当教員		白井 小百合	4	旦当教員連絡先	PHS 718159					
単位数		1単位(後期1)	A	夏修年次	1年(2年でも可)					
テーマと目的	5	症例に基づいて腎臓	、高血圧疾	患に関連する画像検査	法を理解し、読	どできる				
講義計画		腎臓、高血圧症例を	:通して必要	な特殊な画像検査法の	意義とその解釈を	検討する				
達成目標				る特殊な画像検査法の る最新の画像検査法を		できる				
教科書·参考	書	別途指示								
準備学習(予習・行	复習•時間)	事前に参考資料をよ	く読んでおく	くこと。 1時間						
成績評価法		出席と講義内での発	表および受	講態度による総合評価						
	卒業認定・学位授与 の方針との関連性 腎臓画像診断学の知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する									
			講義	内 容						
前期(回)	内	容 (出席卿)	後期(回	内 容	(出席((1)				
1			1	症例を通じて特殊な	さ画像検査の意義を	学ぶ (1)				
2			2	症例を通じて特殊な	さ画像検査の意義を	学ぶ (2)				
3			3	症例を通じて特殊な	さ画像検査の意義を	学ぶ (3)				
4			4	症例を通じて特殊な	さ画像検査の意義を	学ぶ (4)				
5			5	症例を通じて特殊な	さ画像検査の意義を	学ぶ (5)				
6			6	症例を通じて特殊な	さ画像検査の意義を	学ぶ (6)				
7			7	症例を通じて特殊な	さ画像検査の意義を	学ぶ (7)				
8			8	症例を通じて特殊な	さ画像検査の意義を	学ぶ (8)				
9			9	症例を通じて特殊な	さ画像検査の意義を	学ぶ (9)				
10			10	症例を通じて特殊な	さ画像検査の意義を	学ぶ (10)				
11			11	症例を通じて特殊な	さ画像検査の意義を	学ぶ (11)				
12			12	症例を通じて特殊な	さ画像検査の意義を	学ぶ (12)				
13			13	症例を通じて特殊な画像検査の意義を学ぶ(1						
14			14	症例を通じて特殊な	:画像検査の意義を	学ぶ(14)				
15			15	症例を通じて特殊な	列を通じて特殊な画像検査の意義を学ぶ(15)					

講義コー	ド	→ 専攻分野 腎臓・高血					i •高血圧内 ⁵	科学			
講義題目		血圧•	体液馵	具常特論 I	I			必修/選択	必修		
担当教員		今井 直	彦		担	当教員	連絡先	PHS 718136	•		
単位数		1単位(後期 1)		履何	修年次		1年(2年でも可)		
テーマと目的	勺	血圧お。	よび体液	の制御とその	異常	に基づ	づく特殊な疾患の	最新の知見を理	解する		
講義計画		最新の知	巾見に基っ	づいて特殊な	血圧、	、体液。	異常症例の病態	を理解し、管理方法	を検討	する	
達成目標								最新の知見を説明 最新の知見を説明			
教科書•参表	 	別途指表	示								
準備学習(予習・	復習•時間)	事前に	前に参考資料をよく読んでおくこと。 1 時間								
成績評価法		出席と講	養内で の	の発表およて	が受講	態度	こよる総合評価				
	卒業認定・学位授与 の方針との関連性 血圧・体液異常の知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する										
				講	義力	勺容					
前期(回)	P	内 容	(出席	(P) 1	後期(回)	内	容 ()	出席卿)		
1					1		特異な血圧異常	常症例を通じて病態	を学ぶ	(1)	
2					2		特異な血圧異常	常症例を通じて病態	を学ぶ	(2)	
3					3		特異な血圧異常	常症例を通じて病態	を学ぶ	(3)	
4					4		特異な血圧異常	常症例を通じて病態	を学ぶ	(4)	
5					5		特異な血圧異常	常症例を通じて病態	を学ぶ	(5)	
6					6		特異な血圧異常	常症例を通じて病態	を学ぶ	(6)	
7					7		特異な血圧異常	常症例を通じて病態	を学ぶ	(7)	
8					8		特異な体液異常	常症例を通じて病態	を学ぶ	(1)	
9					9		特異な体液異常	常症例を通じて病態	を学ぶ	(2)	
10					10	١	特異な体液異常	常症例を通じて病態	を学ぶ	(3)	
11					11		特異な体液異常	常症例を通じて病態	を学ぶ	(4)	
12					12	1	特異な体液異常	常症例を通じて病態	を学ぶ	(5)	
13					13		特異な体液異常症例を通じて病態を学ぶ				
14					14		特異な体液異常	常症例を通じて病態	を学ぶ	(7)	
15					15		特異な体液異常症例を通じて病態を学ぶ(8)				

講義コー	ド	*	専	攻分野	腎臓•高血圧内]科学					
講義題目		腎疾患	見特論Ⅱ		•	必修/選択	必修				
担当教員		櫻田 勉	l		担当教員連絡先	PHS 80834					
単位数		1単位(後期 1)		履修年次	1年(2年でも可)				
テーマと目的	勺	腎疾患症	定例の医学的	、社会的、	倫理的、精神的な問題	への適切な対応を	学ぶ				
講義計画		種々の特	別な腎疾患症	E例への対	応を種々な医療スタッフ	と検討し、適切な対応	芯を討議する				
達成目標					会的、倫理的、精神的な の制度と最新の対応法		説明できる				
教科書·参考	考	別途指示	Ŕ								
準備学習(予習・2	復習•時間)	事前に参	参考資料をよく	読んでお	くこと。 1 時間						
成績評価法	•	出席と講	義内での発え	長および 受	講態度による総合評価	i					
	卒業認定・学位授与 の方針との関連性 腎疾患の知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する										
				講義	内 容						
前期(回)	P	内 容	(出席卿)	後期(回	可) 内容	(出席)	副)				
1				1	特異な症例の多面	i的な問題解決を検	計する (1)				
2				2	特異な症例の多面	前的な問題解決を検	討する (2)				
3				3	特異な症例の多面	前的な問題解決を検	討する (3)				
4				4	特異な症例の多面	前的な問題解決を検	討する (4)				
5				5	特異な症例の多面	的な問題解決を検	討する (5)				
6				6	特異な症例の多面	前的な問題解決を検	討する (6)				
7				7	特異な症例の多面	前的な問題解決を検	討する (7)				
8				8	特異な症例の多面	前的な問題解決を検	討する (8)				
9				9	特異な症例の多面	前的な問題解決を検	討する (9)				
10			10 特異な症例の多面的な問題解決を検討する(10)								
11			11 特異な症例の多面的な問題解決を検討する(11)								
12			12 特異な症例の多面的な問題解決を検討する								
13				13	特異な症例の多面	特異な症例の多面的な問題解決を検討する(
14				14	特異な症例の多面	的な問題解決を検討	サする (14)				
15		<u> </u>		15	特異な症例の多面	特異な症例の多面的な問題解決を検討する(15)					

講義コー	ド	*		専攻分野	野	腎臓・	高血圧内症	科学			
講義題目	l	腎症	寿理と臨 り	末各論Ⅱ	'			必修/選択	必修		
担当教員		白井	: 小百合		担当	当教員運	車絡先	PHS 718159			
単位数		1単化	位 (後期 1)		履修	多年次		1年(2年でも可)		
テーマと目的	的	腎生	検組織と臨	床情報とを組	1み合	わせ、痘	涛態、診断、管	理、そして治療方	法を学ぶ		
講義計画		腎生	検組織の評	価を基盤に、	、症例	の病態	、診断、管理、	そして治療方法を	:学ぶ		
達成目標							列の病態を説り エビデンスレベ	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	きる		
教科書•参	考書	別途	指示								
準備学習(予習・	復習•時間)	事前	iに参考資料	をよく読んで	おくこ	と。1	時間				
成績評価法		出席	と講義内で	の発表およて	が受講!	態度に。	よる総合評価				
	卒業認定・学位授与 の方針との関連性 腎病理の臨床的知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する										
	講義内容										
前期(回)		内	容(片	出席卿)	後期	(回)	内	容	(出席卿)		
1					1	-	腎生検症例を	通じて特殊病変像	を学ぶ(1)		
2					2	2	腎生検症例を	通じて特殊病変像	を学ぶ (2)		
3					3	3	腎生検症例を	通じて特殊病変像	を学ぶ (3)		
4					4	Ŀ	腎生検症例を	通じて特殊病変像	を学ぶ (4)		
5					5	5	腎生検症例を	通じて特殊病変像	を学ぶ (5)		
6					6	5	腎生検症例を	通じて疾患管理法	を学ぶ(1)		
7					7	,	腎生検症例を	通じて疾患管理法	を学ぶ (2)		
8					8	3	腎生検症例を	通じて疾患管理法	を学ぶ (3)		
9					g)	腎生検症例を	通じて疾患管理法	を学ぶ (4)		
10					10	0	腎生検症例を	通じて疾患管理法	を学ぶ (5)		
11					1	1	腎生検所見に	.関する最新のエビ	デンス(1)		
12		12 腎生検所見に関す					関する最新のエビ	デンス(2)			
13					13	3	腎生検所見に関する最新のエビデンス (3)				
14		14 腎生					腎生検所見に	見に関する最新のエビデンス (4)			
15						5	腎生検所見に関する最新のエビデンス (5)				

講義コー	ド	*	等攻分野 腎臓・高					科学	
講義題目	I	高』	血圧診療	の最新の	進步	.		必修/選択	必修
担当教員		市川	大介		担当	当教員運	車絡先	PHS 81479	
単位数		1 単	位 (後期 1)		履修	多年次		1年(2年でも可)
テーマと目的	内	高血	圧診療の最	新の進歩を知	印識と	して学	ぶとともに、知識	戦の得かたを習得	する
講義計画							寮に関する原著 て献を集め、内	脊、総説などのキ− 容を議論する	-ペーパーを
達成目標				の最新の知識 こ関する文献			できる		
教科書•参表	考書	別途	指示						
準備学習(予習・	復習・時間)	事前	iに参考資料	をよく読んで	おくこ	ا ، ځ	時間		
成績評価法		出席	と講義内で	の発表および	泛講	態度に	よる総合評価		
卒業認定・学		高血	高血圧診療の知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する						导する
	講義内容								
前期(回)		内	容	(出席卿)	後期	月(回)	内	容	(出席卿)
1						1	高血圧発症	幾序の最新の知見	(1)
2						2	高血圧発症	幾序の最新の知見	(2)
3						3	高血圧発症	幾序の最新の知見	(3)
4						4	降圧薬に関す	ける最新の知見(1)
5						5	降圧薬に関す	ける最新の知見(2)
6						6	動脈硬化に関	碁する最新の知見	(1)
7						7	動脈硬化に関	碁する最新の知見	(2)
8						8	高血圧診療の	の最新のエビデン	ス (1)
9						9	高血圧診療の	り最新のエビデン	ス (2)
10						10	高血圧診療の	D最新のエビデン	ス (3)
11						11	高血圧診療の	の最新のエビデン	ス (4)
12			12 心血管系疾患診療の最新のエビ					·デンス (1)	
13			13 心血管系疾患診療の最新のエビデンス(·デンス (2)	
14			14 心血管系疾患診療の					診療の最新のエビ	デンス (3)
15			15 虚血性					D最新のエビデン	 ス

講義コー	ド	*		専攻分野	F	腎臓•高	5血圧内	科学		
講義題目	l	血液	浄化法	実習Ⅱ	'			必修/選択	必修	
担当教員		櫻田:	勉		担	当教員連絡	先	PHS 80834		
単位数		2単位	(後期 2)		履	修年次	1年(2年でも可)			
テーマと目的	杓	特殊な	血液浄化	法の実践と管	理					
講義計画		種々な	症例への	対応により特別	殊な	:血液浄化法	よの実践方	生を習熟する		
達成目標				争化法の原理 争化法の問題			•			
教科書•参表	考書	別途指	示							
準備学習(予習・	復習•時間)	事前に	参考資料	をよく読んでき	おくこ	こと。 1 時間	1			
成績評価法		出席、	受講態度	および質疑応	答に	こよる総合評	猫			
卒業認定・特の方針との		血液浄	化法の知	識に基づいて	こ、自	立して研究	尼を遂行し諸	述する能力を習行	导する	
				講	姜 [内 容				
前期(回)		内 忽	\$	(出席卿))	後期(回)		内容	(出席卿)	
1						1	持続的血液浄化(1)			
2						2	持続的血液浄化(2)			
3						3	持続的血液浄化(3)			
4						4	持続的血液浄化(4)			
5						5	血漿交換療法(1)			
6						6	血漿交換療法(2)			
7						7	血漿交換療法(3)			
8						8	二重濾過	血漿交換		
9						9	LDL 吸着療法(1)			
10						10	LDL 吸着	療法 (2)		
11						11	免疫吸着	療法(1)		
12						12	免疫吸着療法(2)			
13					13	白血球吸着療法				
14						14	顆粒球吸着療法			
15						15	エンドトキシン吸着療法			

講義コード	*	専攻分野	腎臓•高	血圧内和	斗学				
講義題目	利尿薬特論				必修/選択	選択			
担当教員	柴垣 有吾	4	担当教員連絡	先	PHS 80047				
単位数	1単位(前期 1)	J	愛修年次		1年(2年でも可)				
テーマと目的	利尿薬の特性と	使い方を理解す	する						
講義計画	腎臓の生理学的	な働きと利尿薬							
達成目標	1. 腎臓における 2. 利尿薬の種類 3. 利尿薬の臨済	類と作用を理解	する						
教科書•参考書	別途指示								
準備学習(予習・復習・時	間)事前に参考資料	をよく読んでお	くこと。 1 時間	1					
成績評価法	出席とレポート								
卒業認定・学位授与 の方針との関連性 利尿薬の知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を習得する						3			
		講義	内 容						
前期(回)	内容	(出席卿)	後期(回)	F	内 容	(出席卿)			
1 利尿	薬概論 1		1						
2 利尿	薬概論 2		2						
3 サイ	アザイド系利尿薬 1		3						
4 サイ	アザイド系利尿薬 2		4						
5 ルー	プ利尿薬 1		5						
6 ルー	プ利尿薬 2		6						
7 抗ア	ルドステロン薬 1		7						
8 抗ア	ルドステロン薬 2		8						
9 Nat	弋謝を理解する 1		9						
10 Na f	弋謝を理解する 2		10						
11 利尿	薬の臨床応用を考え	3 1	11						
12 利尿	薬の臨床応用を考え	3 2	12						
13 利尿	薬の臨床応用を考え	る 3	13						
المع مشن	<u></u> -		<u> </u>	·					
14 症例	検討 1		14						

講義コー	F	*	専攻分野	<i>f</i> ,	腎臓∙高」	血圧内	科学	
講義題目		CKDと医療	連携				必修/選択	選択
担当教員		櫻田 勉		担当	新員連絡 先	ŧ	PHS 80834	
単位数		1単位(前期 1)		履修	多年次		1年(2年でも可)	
テーマと目的	勺	CKDの病態を理	解し、正しく図	医療退	連携ができる	ようになる		
講義計画		CKDの病態の講	議と実際の医	医療連	連携の現場で	での実習		
達成目標		 CKDの病態 CKDの社会 医療現場による 	的意義の理解	-	連携の体験			
教科書·参表	考	別途指示						
準備学習(予習・	復習•時間)	事前に参考資料	をよく読んでお	おくこ	と。1時間			
成績評価法		出席とレポート						
	卒業認定・学位授与 の方針との関連性 CKD と医療連携について、自立して研究を行い、論文を作成して発表する能力						る能力	
			講	& 内	容			
前期(回)		内容	(出席卿)		後期(回)		内容	(出席卿)
1	CKDの)	定義と頻度			1			
2	CKDと	メタボリックシンドロ・	— Д		2			
3	CKDと	心血管疾患			3			
4	CKDと	生活習慣病			4			
5	CKDと特	特定検診			5			
6	CKDと	敞略研究			6			
7	CKD管	理・治療における低	也職種の連携		7			
8	CKD管	理・治療における病	対診連携		8			
9	CKD/\	イリスク群へのアプ	ローチ 1		9			
10	CKD/\	イリスク群へのアプ	ローチ 2		10			
11	CKD(C	おける高血圧治療	の実際 1		11			
12	CKDにおける高血圧治療の実際 2				12			
13	CKD (C	おける高血圧治療	の実際 3		13			
	100 total 110 No		1		1			
14	保健指導	尊資材を使った現場	場活動 1		14			

講義コー	ド	專攻分野 腎臟•高」				科学	
講義題目		AKIの治療と	:管理			必修/選択	選択
担当教員		柴垣 有吾		担当教員連絡	先	PHS 80047	
単位数		1単位(前期)		履修年次		1年(2年でも可)	
テーマと目的	内	AKIの病態を理解	解し、正しい治	療ができるよう	になる		
講義計画		AKIの講義と腎脈	臓病センター に	こおける実習			
達成目標		1. AKIの病態を 2. AKIの治療法		行できる			
教科書·参表	考書	別途指示					
準備学習(予習・	復習•時間)	事前に参考資料	をよく読んでお	おくこと。 1 時間			
成績評価法		出席とレポート					
卒業認定・等		AKI の治療と管理	里について、自	立して研究を	行い、論文	を作成して発表す	でる能力
			講	喜内 容			
前期(回)		内 容	(出席卿)	後期(回)		内 容	(出席卿)
1	AKIの構	既念		1			
2	AKIの指	対態 1		2			
3	AKIの病態 2			_			
	AKIの非	対態 2		3			
4	AKIの病 AKIの病						
4 5		芳態 3		3			
	AKIの病	対態 3		3 4			
5	AKIの指 AKIの治	病態 3 台療 1 台療 2		3 4 5			
5 6	AKIの指 AKIの治	病態 3 台療 1 台療 2 台療 3		3 4 5 6			
5 6 7	AKIの指 AKIの指 AKIの指 AKIの指	病態 3 台療 1 台療 2 台療 3		3 4 5 6 7			
5 6 7 8	AKIの指 AKIの指 AKIの指 AKIの指 ICU にま	病態 3 台療 1 台療 2 台療 3		3 4 5 6 7 8			
5 6 7 8 9	AKIの指 AKIの指 AKIの指 AKIの指 ICU にま ICU にま	病態 3 台療 1 台療 2 台療 3 台療 4	Ą	3 4 5 6 7 8 9			
5 6 7 8 9	AKIの指 AKIの指 AKIの指 AKIの指 ICU にお ICU にお	病態 3 台療 1 台療 2 台療 3 台療 4 GけるAKI 1	Į.	3 4 5 6 7 8 9			
5 6 7 8 9 10 11	AKIの指 AKIの指 AKIの指 AKIの指 ICU にお ICU にお 高齢者を 小児AK	病態 3 台療 1 台療 2 台療 3 台療 4 GけるAKI 1 GけるAKI 2		3 4 5 6 7 8 9 10			
5 6 7 8 9 10 11	AKIの指 AKIの指 AKIの指 AKIの指 ICU にお ICU にお 高齢者を 小児AK	病態 3 台療 1 台療 2 台療 3 台療 4 おけるAKI 1 おけるAKI 2 AKIにおける諸問題	Į	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12			

講義コー	·ķ	*	専攻分野	*	腎臓•髙	血圧内	科学		
講義題目	l	尿中バイオマ	アーカー特	論			必修/選択	₹	選択
担当教員		池森 敦子		担当	当教員連絡	先	PHS 81075	;	
単位数		1単位(前期)		履修	多年次		1年(2年でも	可)	
テーマと目的	的	尿中バイオマース	カーの臨床的:	理解	を深める				
講義計画		講義と症例検討る	を行う						
達成目標		 尿中バイオマ 各腎臓疾患の有用性と防 	において、尿			ケーにより病	態をどこまで理	里解	できるか、そ
教科書•参	考書	別途指示							
準備学習(予習・	復習•時間)	事前に参考資料	をよく読んでお	おくこ	と。 1 時間	ij			
成績評価法		出席とレポート							
卒業認定・等		尿中バイオマーカ	一の知識に基	うづい	て、自立し	て研究を遂	行し論述する能	力を	≧習得する
	講 義 内 容								
前期(回)		内容	(出席卿)	É	後期(回)		内容		(出席卿)
1	バイオマ	ーカー概論 1			1				
2	バイオマ	ーカー概論 2			2				
3	NGAL				3				
4	KIM1				4				
5	L-FAI	BP1			5				
6	L-FAI	BP2			6				
7		イオマーカーと疾患			7				
8	尿中バイ	イオマーカーと医療	連携		8				
9	CKD と	ベイオマーカー 1			9				
10	CKD と	ベイオマーカー 2			10				
11	CKD と	ベイオマーカー 3			11				
12	AKI とバ	イオマーカー 1			12				
13		イオマーカー 2			13				
14	AKI とバ	イオマーカー 3			14				

講義コード		* 専攻分野		•	腎臟•高血圧内科学						
講義題目		腎疾患を形態と機能から			里解する		必修/選択	選択			
担当教員		柴垣 有吾		担当	担当教員連絡先		PHS 80047				
単位数		1単位(前期)		履修年次		1年(2年でも可)					
テーマと目的		腎疾患の病態を形成する形態学的な変化と生理学的な変化を総合的に捉えて、腎疾 患を正しく管理治療できるようになる									
講義計画		講義と症例検討を行う									
達成目標		1. CKDのステージによる腎臓の形態的な変化を理解する 2. 腎臓の予備力を理解する 3. 腎疾患における臨床検査値の異常のメカニズムを生理学的な働きから理解する									
教科書•参考書		別途指示									
準備学習(予習・復習・時間)		事前に参考資料をよく読んでおくこと。 1 時間									
成績評価法		出席とレポート									
卒業認定・学位授与 の方針との関連性		腎疾患の形態と機能を理解し自立して研究を行い、論文を作成して発表する能力									
講義内容											
前期(回)		内容	(出席卿)	1	後期(回)		内 容	(出席卿)			
1	形態と機能概論 1				1						
2	形態と機能概論 2				2						
3	形態と機能概論 3				3						
4	形態と機能概論 4				4						
5	CKDにおける形態と機能 1				5						
6	CKDにおける形態と機能 2				6						
7	CKDにおける形態と機能 3				7						
8	AKIにおける形態と機能 1				8						
9	AKIにおける形態と機能 2				9						
10	腎移植ドナーから分かること 1				10						
11	腎移植ドナーから分かること 2				11						
12	移植腎の形態と機能 1				12						
13	移植腎の形態と機能 2				13						
14	14 形態と機能概論 1				14						
15	形態と機能概論 2				15						

講義コード		** 専攻分野		腎臓•高血圧内科学							
講義題目		CKDの薬物			必修/	選択	選択				
担当教員		市川 大介		担当教員連絡先		PHS 81479					
単位数		1単位(前期)		履修年次		1年(2年でも可)					
テーマと目的		腎疾患における乳	素物療法の基礎	巻と応用を学る	» >						
講義計画		講義と症例検討を行う									
達成目標		1. 腎疾患に用いる薬物の基礎を理解する 2. 腎疾患時に使用する薬物の用量設定の基礎を理解する									
教科書·参考書		別途指示									
準備学習(予習・復習・時間)		事前に参考資料をよく読んでおくこと。 1 時間									
成績評価法		出席とレポート									
卒業認定•	学位授与	CKD における薬	KD における薬物療法の知識に基づいて、自立して研究を遂行し論述する能力を								
の方針との	の方針との関連性 習得する										
講義内容											
前期(回)	内容 (出席卿)			後期(回)		内 容		(出席卿)			
1	CKDの薬物療法 1			1							
2	CKDの薬物療法 2			2							
3	CKDの薬物療法 3			3							
4	CKDの薬物療法 4			4							
5	CKDの薬物療法 5			5							
6	CKDの薬物療法 6			6							
7		アンジオテンシンテ	7								
8		アンジオテンシンテ	8								
9		アンジオテンシンテ	9								
10		アンジオテンシン	10								
11		引薬概論 1	11								
12		削薬概論 2	12								
13	免疫抑制薬概論 3			13							
14	抗アルドステロン薬 1 抗アルドステロン薬 2			14							
15		 -		15							